

科目名	デザイン演習1							年度	2024	
英語科目名								学期	前期	
学科・学年	マンガ・アニメーション科	1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	長田美穂			教員の実務経験		有	実務経験の職種		学術博士	
<b>【科目の目的】</b> この授業は、演習台紙を使用し、実際に知識から、作品に生かすことによって身に付けていく授業。 色相による、作品への・効果・色彩情報・色彩設定に不可欠な色彩の基礎知識を体験的に学習。 色彩検定、カラーコーディネート検定への応用も行い、検定へもつながる授業となる。										
<b>【科目の概要】</b> 色の3属性(色相・明度・彩度)を使ったトーンを理解し、自分のイメージが表現でき、他者にも伝わる様表現する。色もたらず意味、効果について学習し、色彩計画に不可欠な色彩の基礎を、実習課題を通して学習する。また、色彩検定、カラーコーディネート検定にも対応できる基礎を学ぶ。										
<b>【到達目標】</b> 多角的な視点から、色彩の知識を学び、興味を持って色を効果的に活用でき、応用するための方法を習得することを目的とする。 前期：色彩の基礎を学ぶ。 後期：前期授業内容に基づき、色彩の知識をもとに、それを応用、作品の生かし方を体得することにより、色彩をイメージ通りに使うことができるようになる。										
<b>【授業の注意点】</b> この授業では、テーマに合わせて計画な作業を行う事が重視される。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	PCCS色相環を理解し活用出来ている		PCCS色相環を理解している		PCCS色相環の理解が足りない					
到達目標 B	配色カードを理解し活用出来ている		配色カードを理解している		配色カードの理解が足りない					
到達目標 C	トーンについて理解している		トーンについて理解している		トーンへの理解が足りない					
到達目標 D	色相・明度・彩度を理解し活用出来ている		色相・明度・彩度を理解している		色相・明度・彩度の理解が足りない					
到達目標 E	色名について理解し活用できている		色名を理解している		色名についての理解が足りない					
<b>【教科書】</b> 筆記用具、ノート、PC										
<b>【参考資料】</b> 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デザイン演習1			年度	2024
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評 価	日 数
1	オリエンテーション		色のテスト	カラーコミュニケーション	3	
				基本36色の持つ意味		
2	色相環		トーン別色相環作成	PCCS色相環	3	
				補色		
				アニメの補色		
3	色の分類		トーン別色相環作成	色相・明度・彩度	3	
4	トーン		ドミナントカラー・トーンオ ントーン理解	PCCSトーンのイメージ	3	
5	色名		基本色名、系統色名、固有色 名、慣用色名	基本色名、系統色名、固有色名、慣用色名	3	
				JIS系統色名の色相関係		
				JIS系統色名の明 彩度関係		
6	混色		基本色名、系統色名、固有色 名、慣用色名	光と色について	3	
				可視光線について		
				三原色		
7	キャラクターを色で分 類		配色からキャラクターの分類	配色からキャラクターの分類	3	
8	配色テクニック 1		ピコロール・トリコロール・ トータル	暖色・寒色	3	
9	配色テクニック 2		ダイアードからヘキサード	高彩度の組み合わせ	3	
				中彩度の組み合わせ		
				低彩度の組み合わせ		
10	配色テクニック 3		同一色相配色から補色相配 色	同一色相配色	3	
				隣接色相配色		
				類似色相配色・中差色相配色		
11	配色テクニック 4		ナチュラル・コンプレックス	ナチュラル配色	3	
				コンプレックス配色		
12	配色テクニック 5		アクセントカラー・セパレ ーションカラー	セパレーション、アクセントを使用し	3	
				引き締め、やわらげ		
13	定期試験（1回～12回 の内容）				1	
14	配色テクニック 6		国旗など、世の中の色の意味 を学ぶ	赤・橙・黄・緑・青・紫・白・黒	3	
15	流行色とアニメ		色と心理の関わり	色相心理	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等